

【白石町教育大綱の基本となる考え方】

「人と大地がうるおい輝く豊穡のまち」を目指す白石町の基本理念を受け、また、国際化・情報化・少子高齢化など社会の変化を認識し、地域・学校・家庭が連携しながら、郷土に愛着を持ち、郷土の発展に貢献しようとする心身ともに健康でたくましい白石町民を育成する。

【目指す小学校像】

- ・学ぶ喜びと達成感・充実感を味わえる学校
- ・それぞれのよさが認められ、安心して自分の力を発揮できる学校
- ・地域に愛され信頼され、地域とともに発展する学校

【目指す児童像】

- ・進んで学び、考えを深める児童
- ・認め合い、ともに伸びていこうとする児童
- ・自ら挑戦し、粘り強く頑張る児童
- ・ふるさとを愛し、行動する児童

<目指す小学校像・児童像を具現化するための手立て>

(1) 小・中9年間を見通した発達段階に応じた学びの展開

- ①「学びの土台づくり」の段階：小学1～3年生
- ②「伸ばす」段階：小学4年～6年生
- ③「発揮する」段階：中学1～3年生

(2) 多様な学びの場の保障

- ①地域人材を活用した「ふるさと学（仮）」や当代一流の人に直に学ぶ「一流講座（仮）」など、「教育は憧れへの連鎖」を具現化する教育活動の展開
- ②小・小連携及び小・中連携を図った交流・合同学習による対話的な学びの展開
- ③一人一台端末を有効活用した共に学び合う協働学習や一人一人の学習進度や習熟の程度に応じた個別学習の充実

(3) 授業の質や学習理解の向上を図る指導体制の工夫

- ①高学年の算数・理科・体育などでの教科担任制による、より専門的な授業の展開
- ②ティーム・ティーチングや少人数指導による確かな学力の定着

(4) コミュニティ・スクールのさらなる推進と充実

- ①学校・家庭・地域の役割分担と連携協力で促す子どもの「自立」
- ②「地域の子どもは地域で守る」意識の醸成と活動の具現化
- ③地域行事等への参加によるふるさと愛の涵養

(5) 安全・安心で魅力ある機能的な施設・設備

- ①特別教室も含めた全教室へのエアコン設置や校舎全域のWi-Fi環境の整備
- ②ノーマライゼーションの理念に基づく多目的トイレやバリアフリー設備の充実

<新しい学校づくりのキーワード>

3つのコラボレーション（協働）

- ☆学校・家庭・地域の連携強化
- ☆教職員の協働によるチーム力向上
- ☆子ども同士の「学び合い、認め合い、支え合い、ともに伸びる」環境づくり

※この基本方針は、白石町立小学校全てを包括するものであり、その上で、地域の実態・特色を考慮した学校づくりにつなげる。